

3年生林産物利用 曲げわっぱ弁当箱の製作

3年生の林産物利用では秋～冬にかけて、地域の木材を利用した伝統工芸品製作として、東濃桧や木曽桧を用いた曲げわっぱ弁当箱の製作を行っています。厚さ2mmに製材した柾目のヒノキ材を鍋で煮てから曲げて成型し、底板を貼り付けていきます。完成に時間を要する作品ですが、1月に入り、弁当箱が完成してきました。



弁当箱の仕上げ研磨



刷毛で塗装を行っているところ



刷毛で塗装する作業は、とても楽しいです



塗装には、木製食器にも使えるWoodfoodオイルを用いました。中には電熱ペンでイラストを描く生徒もいました。完成した弁当箱が並んでいると、とても映える光景です。東濃桧の鮮やかなピンクと艶、木曽桧の細やかな木目の双方がとても生きている作品であり、3年生にとっても卒業後も長く使える木製品となっています。